

所 管 事 項 調 査

目次

長崎市博物館条例の一部を改正する条例について（報告）

	ページ
1 条例改正案の概要	1
2 施設の概要	1
3 博物館の比較	4
 【参考】	
長崎（小島）養生所跡資料館の建設について	5

1 条例改正案の概要

(1) 目的

市指定史跡「長崎（小島）養生所跡」が所在する西小島1丁目地内において、仁田佐古小学校体育館に併設して整備する資料館が近く完成するのに伴い、その名称、位置等を定めるもの。

(2) 改正の内容

ア 名称及び位置（第2条）

博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
シーボルト記念館	長崎市鳴滝2丁目7番40号
サント・ドミンゴ教会跡資料館	長崎市勝山町30番地1
長崎（小島）養生所跡資料館	長崎市西小島1丁目8番15号

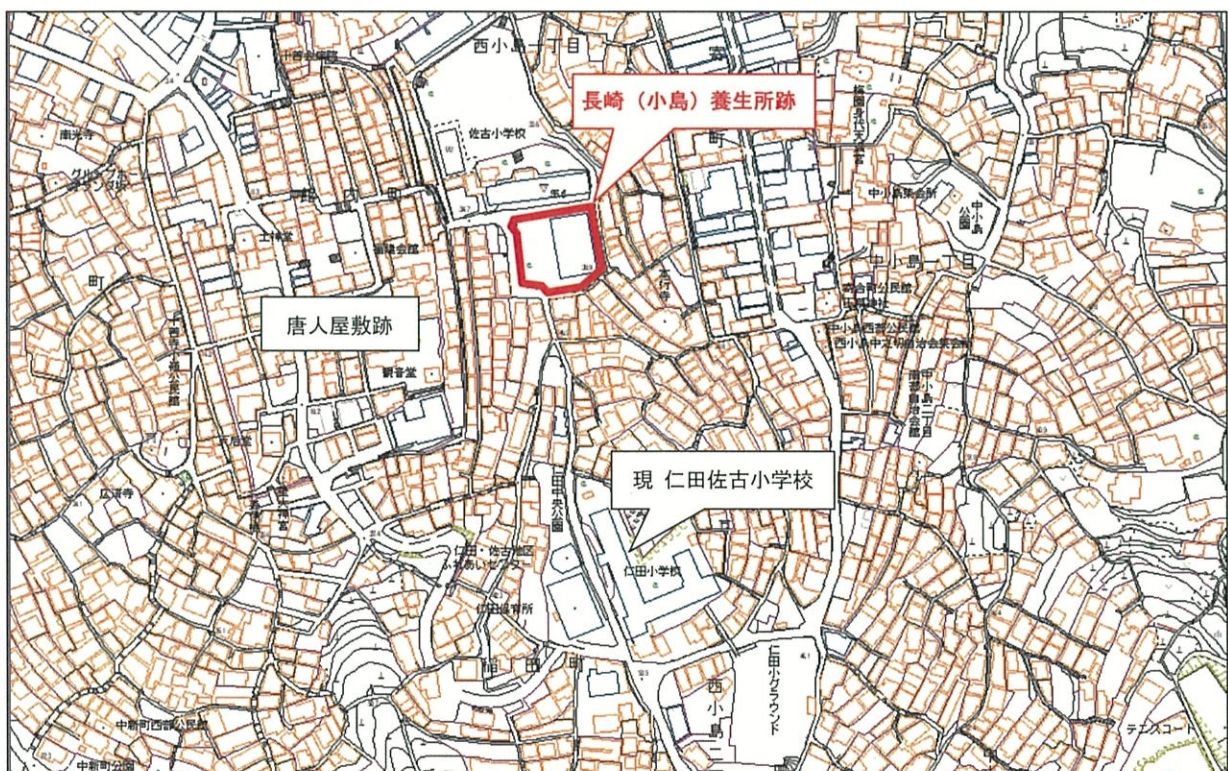
(追加)

イ 施行期日

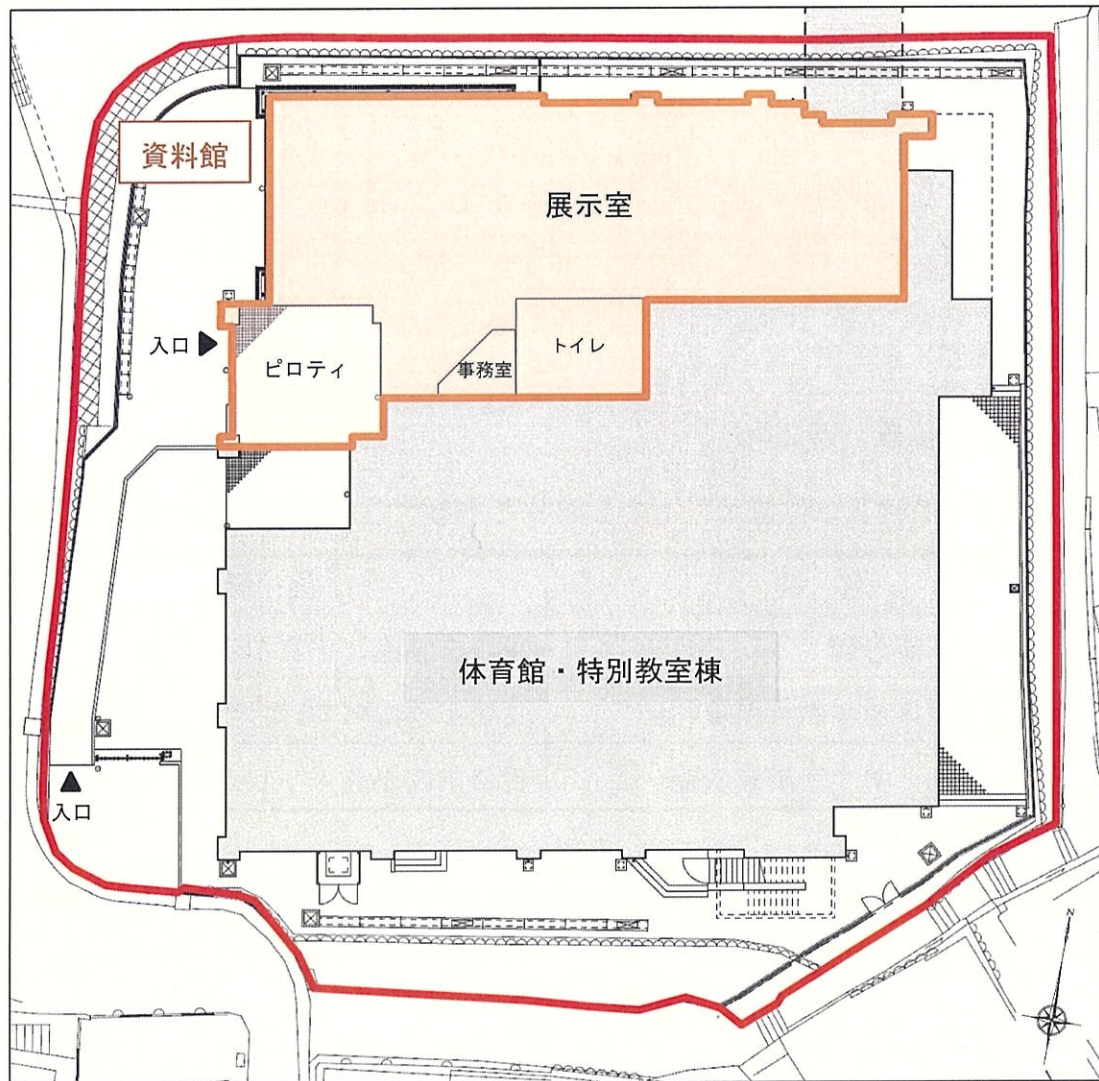
令和2年4月6日

2 施設の概要

(1) 位置図



(2) 平面図



(3) 構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造

(4) 設置目的

日本初の西洋式近代病院である小島養生所をはじめ、医学所及び分析究理所の貴重な歴史的価値を伝えながら、関連する遺跡の適切な保存と活用を図り、後世に継承するため、埋蔵文化財発掘調査で検出した遺構のほか、関係資料を展示する長崎（小島）養生所跡資料館（以下「資料館」という。）を設置する。

(5) 主な施設内容 展示室、事務所、トイレ

(6) 展示概要

別紙（P 8～P 10）参照

(7) 開館時間 午前9時～午後5時 ※規則で規定

(8) 休館日 ※規則で規定

ア 毎週月曜日

※ただし、その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日にあたるものを除く

イ 12月29日から翌年1月3日まで

ウ 市長が管理上必要があると認める日

(9) 入館料 無料

(理由)

ア 未だよく知られていない小島養生所等の顕在化を図り、その歴史的価値を発信することが資料館設置の重要な目的であり、市民はもとより、長崎を訪れる観光客や修学旅行生等に対しても積極的な利用を促し、日本の医学教育に大きな影響を与えたオランダ海軍軍医ポンペをはじめ、我が国の近代医学発展に貢献した人物や、日本最初の西洋式近代病院である小島養生所等の存在と意義について周知を図るため。

イ 資料館については、仁田佐古小学校新校舎建設に伴う発掘調査で検出した遺構等（埋蔵文化財）の公開施設としての役割が大きいことから、類似施設の状況も勘案し、入館料は無料とするのが望ましいと判断するため。

【参考】既存の博物館入館料

名称	料金		
サント・ドミンゴ教会跡資料館	無料		
シーボルト記念館	区分		金額
			個人 団体（15人以上）
	常設	一般	100円 1人につき 80円
	展示	中学校の生徒又は小学校の児童	50円 1人につき 30円
	特別展示	そのつど市長が定める額	

(10) 年間利用者見込数 12,000人

【参考】既存の博物館入館者数（実績）

名 称	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
シーボルト記念館	11,511 人	11,026 人	10,714 人
サント・ドミンゴ教会跡資料館	6,611 人	5,799 人	4,951 人

3 博物館の比較

(1) 施設の規模

名 称	面 積	資料点数（常設展示）
長崎（小島）養生所跡資料館 [予定]	358.58・m ²	約 50 点（薬瓶ほか出土遺物、模型等）
シーボルト記念館	837.06 m ²	約 180 点（絵画、器物、地図等）
サント・ドミンゴ教会跡資料館	692.04 m ²	約 160 点（花十字紋瓦ほか出土遺物）

(2) 運営体制

名 称	体 制
長崎（小島）養生所跡資料館 [予定]	受付等委託（常時 1 名体制）
シーボルト記念館	直営（3 名配置、常時 2 名体制） 係長（学芸員）、再任用職員、嘱託職員を配置
サント・ドミンゴ教会跡資料館	受付等委託（常時 1 名体制）

(3) 開館時間及び休館日（長崎市博物館条例施行規則）

名 称	開館時間（※1）	休 館 日（※2）
長崎（小島）養生所跡資料館 [予定]	午前 9 時から午後 5 時まで	① 毎週月曜日（ただし、その日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日に当たるときを除く） ② 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで ③ 市長が管理上必要があると認める日
シーボルト記念館		
サント・ドミンゴ教会跡資料館	午前 9 時から午後 5 時まで	① 毎週月曜日 ② 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで ③ 市長が管理上必要があると認める日

※1 市長が必要と認めるときは、変更することができる。

※2 市長が必要と認めるときは、開館することができる。

【参考】長崎（小島）養生所跡資料館の建設について

1 建設に至った経緯

時 期	主 な 内 容
平成 27 年 5 月	佐古小学校と仁田小学校の統廃合について決定 新校舎は佐古小学校跡地に建設
平成 27 年 8 月～10 月 平成 28 年 8 月～12 月	発掘調査の実施（体育館側敷地） 小島養生所の遺構（石垣、玉砂利等）を確認 ※ 1
平成 29 年 5 月	体育館側敷地を市史跡「長崎（小島）養生所跡」に指定することを決定 ＜平成 29 年 6 月 5 日指定＞ 校舎・グラウンド側敷地（校舎解体）における立会調査の実施 分析究理所の遺構（敷地の石垣）を確認 ※ 2
平成 29 年 7 月～9 月	発掘調査の実施 ＜校舎・グラウンド側敷地（追加調査）＞ 分析究理所等の遺構（石垣、建物の礎石、雨落ち溝、石段）を確認 ※ 3 ＜体育館側敷地＞ 小島養生所の遺構（石垣、玉砂利）を確認 ※ 4
平成 29 年 11 月議会	長崎市の小島養生所等遺跡の完全保存に関する住民投票条例について ＜市長意見書の概要＞ ● 遺跡の保存と学校建設はどちらも重要な市の責務であり、両立を目指す。 ● 体育館側敷地に残る小島養生所の遺構は、埋戻しによる保存を基本としつつ、一部は露出展示し、全て現状のまま保存する。 ● 校舎・グラウンド側敷地に残る分析究理所等の遺構については、埋戻しによる現状保存を基本としながら、学校建設の支障となる部分は精度の高い記録をとったうえで移設し、移設部分は埋め戻した部分の複製と合わせて元の姿を彷彿させるよう敷地内で再現して保存・活用を図る。 ● 体育館に展示室を併設し、小島養生所等に関する遺構や遺物、資料などを展示するとともに、これらの貴重な情報を発信して歴史と価値を伝えながら、遺跡の保存・継承を図る。 「仁田佐古小学校建設特殊基礎工事」の請負契約の締結について ＜附帯決議の概要＞ 養生所・医学所遺跡は近代的な医学・医療の、分析究理所遺跡は近代的な薬学・化学・物理学の発祥の地であり、それらの遺跡の保存と活用に当たっては、長崎大学を初め、日本医師会、長崎県医師会などの医療関係者の意見を聴取するとともに、これまで出された意見などを尊重し、進めること。

※ 1～4 遺構の残存状況を踏まえた文化庁の見解に基づき、国の史跡指定には至らないと評価

2 医療関係者への説明及び意見聴取

実施年月日	医療関係団体（出席者）	長崎市出席者
平成29年12月18日	長崎大学（学長、理事1名）	市長、教育長、文化財課長
平成29年12月19日	長崎県医師会（会長、事務局長）	教育長、文化財課長
平成29年12月20日	日本医師会（会長、国際課長）	市長、教育委員会総務部長、文化財課長
平成29年12月21日	長崎大学医学部（医学部長 他2名）	教育長、文化財課長

3 大学との連携等（経過）

区分	内容	
長崎大学	平成30年5月16日	展示資料等について意見交換
	平成30年5月29日	展示のコンセプトについて意見集約 作業工程等について意見交換
	平成30年7月5日	展示設計に係る仕様書について確認（意見集約後に調整）
	平成30年11月16日	展示の概要について意見交換
	平成31年1月18日	展示設計内容について意見交換
	平成31年4月19日	展示設計内容について報告・意見聴取
委員会 ※1	平成30年8月22日	展示の概要について協議
	平成31年2月15日	展示設計内容について協議
	平成31年3月15日	展示設計内容について報告・意見聴取
順天堂大学 ※2	平成30年7月13日	展示室整備の検討状況について報告・意見聴取 日本医学教育歴史館（順天堂大学）視察・調査
	平成31年1月11日	展示設計内容について報告・意見聴取
	平成31年4月22日	展示設計内容について報告・意見聴取

※1 長崎（小島）養生所跡保存・整備委員会

原田博二委員長（長崎史談会会長）、岡林隆敏委員（長崎大学名誉教授）、
下川 功委員（長崎大学理事）、下川達彌委員（活水大学非常勤講師）

※2 アドバイザーとの調整

アドバイザー：坂井建雄特任教授（順天堂大学保健医療学部理学療法学科）

4 資料館建設に係る予算の状況

平成 30 年度		平成 31 年度（令和元年度）		合 計
躯体整備工事	28,500 千円	躯体整備工事	66,500 千円	
展示設計委託	9,000 千円	資料館整備工事	121,400 千円	
		資料館展示整備監理委託	2,000 千円	
その他事務費等	500 千円	その他事務費等	600 千円	
計	38,000 千円	計	190,500 千円	

5 今後のスケジュール

区 分	令 和 元 年 度						
	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
長崎大学と協議	●			●		●	
長崎（小島）養生所 跡保存整備委員会		●				●	●
アドバイザーと調整 （順天堂大学）			●		●		●
躯体整備工事	躯体（体育館）工事（H30.10～R2.2） →						
資料館整備工事	展示室工事（R1.9～R2.3） →						
その他			● 補正予算（11月議会） <展示室運営費>				

※

※令和2年4月6日開館（前日に内覧会等を実施予定）

■ 展示概要

・展示テーマ・コンセプト

日本初の西洋式近代病院「小島養生所」と医学教育

小島養生所教官として活躍し、日本の医学教育に大きな影響を与えたポンペ・ファン・メールデルフォールトを案内役として、どのような教育を行い、日本にどのような影響を与えたかを伝えます。遺構の露出展示や床面表記、模型によって、教育や治療がこの場所で行われていたことが実感できる展示にします。また、企画展示スペースを設けて常設では紹介できないテーマ及び資料を随時展開していきます。

・展示ストーリー案

はじめに

施設の目的・展示概要
【グラフィック・年表】

小島養生所で医学を教え、近代西洋医学教育の父と称されるポンペを案内役として展示概要を伝える。また、小島養生所の歴史やそれに関連する日本医学史の流れを年表グラフィックで紹介。

1. 小島養生所の建設

小島養生所とはどんな施設なのか
【グラフィック・遺構露出展示】

長崎海軍伝習所の誕生から、小島養生所やその関連施設が設置された背景・経緯を紹介。各施設の概要を伝える。また、玉砂利の露出展示を行い、小島養生所ではどの部分にあたるのかなどを模型で解説。

2. ポンペの医学教育

小島養生所で行われた教育とは
【グラフィック・資料・映像装置】

ポンペによって系統的な医学教育や、患者中心の医療活動が行われていたことを紹介。また、ポンペの講義録を現代語訳したものを、映像装置で見ることができる。ポンペが講義で用いた資料も展示。

3. 日本の近代医学・医療の発展

小島養生所での教育が与えた影響とは
【グラフィック】

ポンペの後に教官として活躍したボードインらや、松本良順や長与専斎といったポンペの弟子たちをグラフィックで紹介。ポンペの医学教育が日本の近代医学、医療に与えた影響力の大きさを伝える。

4. 小島養生所跡の保存・活用

小島養生所関連遺構の保存・活用
【グラフィック・実物資料・遺構露出展示】

小島養生所が遺跡としてどのように保存されて、活用に至ったのかをグラフィックで紹介。石垣の一部を露出展示し、出土遺物を展示。分析究理所遺構のレプリカを壁面に展示。VRにて当時の建物・内観を再現する。

・映像ストーリー案

「シアター映像」

概要：ポンペの来崎から帰国までの足跡をたどり、その功績を紹介するとともに、CGにより再現した遺構や当時の小島養生所について解説する。



「VR映像」

概要：小島養生所をVR技術で再現し、当時の様子やポンペの講義を疑似体験できる。



・企画展示案

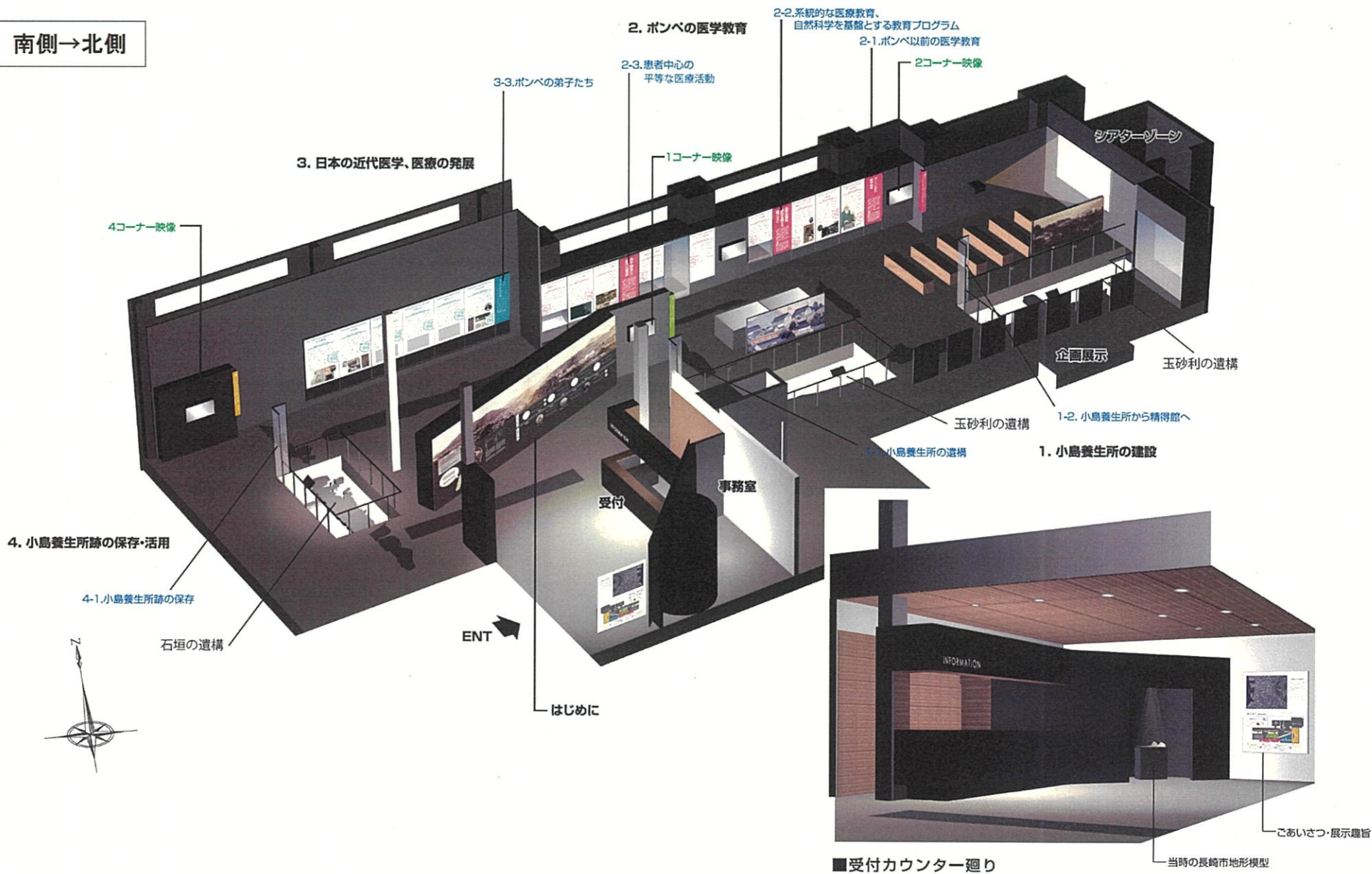
「古写真に見る小島養生所の変遷」

概要：小島養生所に関連する古写真をパネルで展示



<イメージ図>

南側→北側



< 動線図 >

